



[高根沢町]

～住民の積極的な参加により、
"only one" の町づくり活動が進む

個性豊かな県内各市町をご紹介しているこのページ。今回ご登場いただくのは、今の時季、コスモスが美しい高根沢町です。



県のほぼ中央に位置する高根沢町。JR宝積寺駅周辺の市街地を抜けると、背後には美しい水田と緩やかな丘陵地帯が広がります。この豊かな自然のなかで生み出される「安全・安心な食」は、町の大きな魅力です。

高根沢町は昭和44年に宮内庁御料牧場が設置されるなど、その優良な農産物は古くから知られていました。近年では、その農産物を活かした「高根沢ローカルグルメ」が誕生し、町の名物となっています。

一方で「情報の森とちぎ」の立地など研究開発拠点の進出が進んで「環境と調和の取れた産業振興」も図られています。さらに町内の就業機会を拡大するべく、創業支援のための施設「THE CREATORS DEPARTMENT」を開設するなど、ユニークな取り組みも行われています。

◀町のキャラクター・タンタン(左)とモモタン

タンタンは「たんたん田んぼの高根沢」からのネーミングで、町制40周年を記念して1998年に登場。モモタンは元気あつむらのさくらの花をモチーフに、1999年のさくらの日(3月27日)に生まれました。



▲豊かに実った稲穂

建築家・隈研吾氏の設計による「宝積寺駅舎」が町のシンボルに



宝積寺駅

高根沢町を、電車で訪ねてみましょう。町の中心、JR宝積寺駅に降り立つと、まず目に付くのは駅舎や階段の天井の木材による複雑な造形です。デザインしたのは、建築家の隈研吾氏。2020年東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場となる新国立競技場の設計でも知られる、世界的な建築家です。

宝積寺駅は1899年に開業。2008年に新たな駅舎へ改築され、駅東側にはホールや飲食施設、情報拠点の機能を併設する「ちよつ蔵情報発信館」がオープンしました。隈氏設計の新駅舎は天井の幾何学構造が目をはきませんが、古い米蔵を改築したちよつ蔵ホールも大谷石の外壁が特徴的なモダンな建物で、やはり隈氏のプロデュースによるものです。また、ちよつ蔵情報発信館が建つ駅前の広場(ちよつ蔵広場)の路面は穀殻を使用した独自の舗装で、エコロジーの点からも、米どころ・高根沢町のイメージ面でも、町の顔ともいえるべき存在となっています。

2008年は唯一の国際デザインコンペティション、ブルネロ賞を受賞



▲ちよつ蔵情報発信館



▲穀殻舗装でエコを追求



▲広場ではさまざまなイベントが開催される

●THE CREATORS DEPARTMENT
町内での創業支援のための“お試し創業施設”です。宝積寺駅前の好立地に建てられたログハウスでは、個性豊かな雑貨やスコーンなどが販売されています。



▶ 毎月最終週の木曜日には「ソラシタ夜市」が開催され、常設の店舗のほかにも料理屋台や体験ブースなどで楽しむことができます。

●大森果樹園
1万坪の敷地でりんごやブルーベリー、いちごなどを栽培する果樹園です。9月下旬から11月下旬のりんご狩りも人気。



●元気あつむら
「食と健康」がテーマの複合温泉施設。毎分400ℓの湯量を誇る天然温泉にレストランが併設され、本格中華料理や高根沢ちゃんぽんが食べられます。高根沢ジェラートの店舗では、町内産の旬の食材を使った期間限定のフレーバーも販売しています。



高根沢ジェラート▶

●鬼怒グリーンパーク
鬼怒川河川敷の、「水との出会い」がテーマの公園。水上アスレチックやスポーツ施設のほか四季の花々が植えられ、10月は赤や白、黄色などさまざまなコスモスが咲き誇ります。10月6日～10月21日にはコスモス祭を開催。



高根沢町の見どころ

●安住神社
平安時代初期の創建で、厄除け・方位除けの御利益がある古社。全国のバイク神社の第1号でも知られ、毎年12月30日の「大鏡餅奉納式」なども有名です。



▲バイク神社として多くのバイクが集まります

●たんたん祭り
町民有志の企画で始まった手作りのお祭りですが、町の行事として定着しました。今年は10月27日の開催の予定で、昼はステージショーや模擬店、餅つきなど、夜はワラ製の巨大モニュメント(たんたんボッチ)への火入れや打上火花などの催しを行います。



News

「高根沢ローカルグルメ」

2015年10月に高根沢町産の農産物を活用した商品を開発する「高根沢町農産物加工品開発プロジェクト」がスタートし、2017年6月、高根沢産の農産物がふんだんに使われた4種のご当地グルメが「高根沢町ローカルグルメ」として認定されました。

●高根沢ちゃんぽん

長崎県雲仙市との災害時協定を機に誕生しました。ちゃんぽん麺を使用し、町の田園風景をイメージした町内産小松菜ペーストと豆乳の緑のスープに、具は町の野菜をたっぷり使用します。



●高根沢焼ちゃんぽん



コンビニと高根沢高校が共同開発した「高根沢にじいる焼ちゃんぽん」をアレンジして誕生。7種類以上の具材(うち1種以上が高根沢産)を使うことが条件です。

●高根沢 お米スイーツ・パン

町内産のお米や米粉を原料にするモチモチ感と優しい甘さが特徴のヘルシーなお米スイーツやパン。



●高根沢ジェラート



高根沢町産の米粉や果物等を使用し、米ゲルの作用を応用して添加物不使用で美味しく仕上げたジェラートです。



▲認定された商品に表示するマーク。お米をモチーフにしています

profile

●高根沢町

昭和33年4月1日に北高根沢村と阿久津町が合併して誕生したのが、現在の高根沢町です。今年4月、町制施行60周年を迎えました。昭和50年ころまで2万人強で推移していた町の人口は以後増加に転じ、最近では3万人前後で推移しています。県内屈指の米どころで、田圃の用水である「おだきさん」は、農水省選定の全国疏水百選に選ばれました(県内では2件のみ)。

▶面積: 70.87 平方 km
▶人口: 29,769 人 (12,328 世帯)
(平成30年8月1日現在)